



松本市消防団第三分団は、カタクラモール近く、勤労者福祉センターの東側に分団詰所があり、団員は総勢28名で活動しています。

活動範囲は、第一地区・第二地区・第三地区・東部地区の30町会を管轄しています。

第三分団の大きな活動として、3年に一度「操法大会」があります。



酒井 基行 分団長

松本市消防団第三分団 分団長 酒井 基行

# 第三分団からみなさんへ



これは、消防団の要であるポンプ車、小型ポンプ車等の機械・機材を愛護整備し、基本に忠実な動作を覚え、安全確実に火元である火点を倒すタイムレースの競技です。

私たち第三分団は、松本市の大会において、ポンプ車の部で、出場機会の年は三回連続優勝しており、これは団員の誇りであります。

大会のある年は、大会前3か月に及ぶくらい事の多い練習期間ですが、それを団員全員の力で乗り越えた時「地域の為」を思う気持と「仲間同士の絆」は確実に強く太くなっています。

また、私たちが暮らしている郷土松本は、牛伏寺断層を始め、いくつもの断層があります。何も起こらない事が良いのですが、最悪に備えよと教わっているため、災害発生に備え、各種訓練を行っており



これは、消防団の要であるポンプ車、小型ポンプ車等の機械・機材を愛護整備し、基本に忠実な動作を覚え、安全確実に火元である火点を倒すタイムレースの競技です。

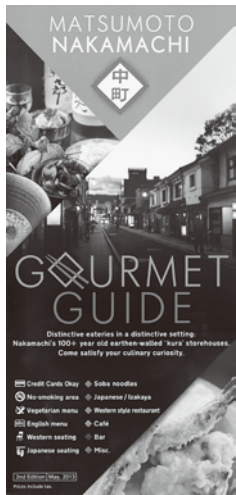
私たち第三分団は、松本市の大会において、ポンプ車の部で、出場機会の年は三回連続優勝しており、これは団員の誇りであります。

大会のある年は、大会前3か月に及ぶくらい事の多い練習期間ですが、それを団員全員の力で乗り越えた時「地域の為」を思う気持と「仲間同士の絆」は確実に強く太くなっています。

また、私たちが暮らしている郷土松本は、牛伏寺断層を始め、いくつもの断層があります。何も起こらない事が良いのですが、最悪に備えよと教わっているため、災害発生に備え、各種訓練を行っており

最後に、私たち第三分団は、カタクラモール再開発に伴い分団詰所の移転が決定しました。第三分団詰所の横にある、35年以上寄り添った火の見櫓と別れるのは辛いものがありますが、移転先は、あがたの森公園の西側となります。

私たち松本市消防団第三分団、一生懸命頑張りますので、これからも宜しくお願い致します。



この頃の快晴の暑い日でも私たち日本人は、まだコートや羽織ったりしているのに、外国人は男性も女性も、タンクトップやTシャツ姿で街歩きを楽しんでいる。

私と娘とで経営する飲食店にも、この連休中は毎日のように外国人のお客様があった。和食が世界に知れわたっ

松本の片隅で、ささやかながらも日本の食文化を通じた交流を、と心がけている日々である。

最後に、私たち第三分団は、カタクラモール再開発に伴い分団詰所の移転が決定しました。第三分団詰所の横にある、35年以上寄り添った火の見櫓と別れるのは辛いものがありますが、移転先は、あがたの森公園の西側となります。

私たち松本市消防団第三分団、一生懸命頑張りますので、これからも宜しくお願い致します。

最近の松本市内には、外国人観光客があふれている。

三月の大雪の次の日、宮村町通りの両側の住民がたくさん出て、手際良く雪かきをしていた。一人旅らしい外国人男性が、熱心にその光景をカメラにおさめ、しまいには道路端にリュックをおろして座り込み、一時間近くもながめていた。外国人の人にとっては、よほど珍しい光景だったに違いない。

地元の御常連さん達が、カタコト英語で話しかけ、外国人さんがカタコト日本語で答え、単語のやりとりだけでも、十分に楽しいひとときが生まれるものだ。

平成26年5月1日現在

世帯数	: 802戸
人口	: 1494人
男	: 700人
女	: 794人

ます。その中でも、災害発生時、数時間の「自助」・「共助」・「公助」の窓口になり、地域の皆様の安全・安心に貢献しています。



て来たのか、彼らが来日に際して日本のことを勉強してくるのか、注目の料理が相当に渋い。落みそや茄子名荷などをあてに冷やの日本酒や生ビールを飲み、あとは肉系のもや焼きうどんなどで食事という風。豆腐、納豆、おにぎりなども喜んで食べていた。ける。ベジタリアンとか宗教上の制限のある方たちには気を使うが、ごはん、みそ汁、おしんこ、若竹煮、あつあつゆでたてグリーン野菜のセットなどを勧めてあげると「私にはこれが最高。すごくおいしいです。」とたどたどしい日本語で答えてくれた。

第一地区の

### 老舗をたずねて

第三十七回

杉山電化(博労町)

父「杉山俊雄」は、明治四十二年杉山家十三代目として生まれましたが、家業を継がず東京のガラス店へ修業に行き、昭和四年に松本へ戻って二十歳でラヂオ、電気器具、板硝子を扱う大作屋(株)杉山商店を始めました。当時一般家庭ではまだ白熱電球ぐらいいかなかった時代でした。

ラヂオ放送は、始まったのが大正十四年ですが、松本に放送局が設置されたのは昭和十三年でした。電気店もあまりなかったそうです。

戦争で一時中断しました



昭和20年代の店看板

戦争で一時中断しました。昭和三十三年には美ヶ原に全県をカバーする送信所が設置され、テレビ放送が始まり(まだ白黒画面ですが)いよいよテレビ時代へと移って行きました。この頃になるとテレビ、洗濯機、冷蔵庫いわゆる三種の神器として又いろいろな電気製品が景気の上昇と共に普及して行きました。



現在の店舗全景

杉山正久

が、復員して店名も「杉山ラヂオ店」として再出発しました。戦後しばらくしてラヂオの普及がかなり進んで来ました。しかし当初メーカー品は高価であったため自店で組み立てて販売する事が多かったと聞いております。

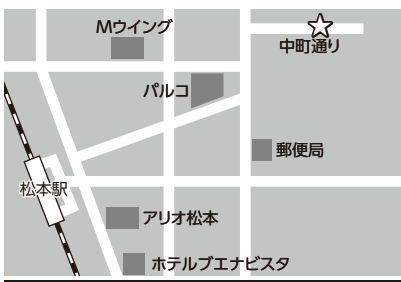
最近、パソコンは勿論のこと A V 機器、白物家電、住宅設備機器もデジタル化される等、現在も技術革新が進んでいます。加えて扱う製品の種類も相当数になっております。又、量販店、通販等の進出によりこの業界も非常に厳しい環境になっておりますが、信用と高い技術力そして何よりもお客様の満足を第一と考え、これからも更に精進し、この仕事を継続して行きたいと思っております。

(注・東京中央放送局は、現在のNHKのことです)



ため現在も日々勉強です。

仕事を手伝い始めましたが、技術の進歩は目覚ましく、設置設定や修理となるとしっかりとした技術を身につけなければとの思いから電気・電話工事等様々な資格を取得しました。お客様の様々なご要望にお答えす



地区内のおそば情報お待ちしております  
電話・FAX: 32-1550  
E-mail: dai1-k@city.matsumoto.nagano.jp

### 「草薙 別館 中町 井say」

住所 松本市中央3-2-9  
電話 0263-36-3023  
営業時間 11:30~14:00  
17:30~22:00  
定休日 水曜日/提供開始年 2004年



お店から .....  
無添加の醤油を用い、自然素材でさわやかなだしを取り、細めの蕎麦を打っています。片丘地区の蕎麦を使用した二八と十割が人気です。



おすすめ  
十割り蕎麦  
1,000円



### 電車通り

今年は、スポーツ界最大イベントのソチオリンピックとパハリンピックがあり、数々のドラマが生まれました。フィギュアで羽生選手19歳、金メダル、ジャンプで葛西選手41歳とスノーボードで平野選手15歳の対照的な銀メダルでは大変感動しました。県代表では上村愛子選手の五大連続入賞に感銘し、ジャンプ女子の高梨選手17歳は、オリンピックでは今一歩でしたが、W杯18戦中15戦一位で立派でした。

その後リトルなでしこが女子サッカーU-17 W杯で優勝し、ゴルフでは勝選手15歳が史上最年少で女子ゴルフツアーで優勝、若い人たちの活躍は頼もしい限りです。

それから松本第一高校生、二山治雄君がスイス、ローザンヌ国際バレーコンクールで優勝し又今度、ユース・アメリカ・グランプリでも一位で再度の快挙です。その成果でバレーがより身近に思えます。

又卓球の世界選手権団体戦で男子が銅メダル、女子が銀メダルとよく健闘しました。

終わりに、今シーズンJ1を目指すサッカーのJ2松本山雅が好調。大いに期待できます。